

# 1 総 括

## 1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術支援の高度化がますます強く要請されている。このため、地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、環境・生活・デザイン及び電子・情報などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・支援業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、J D r e a m I I I , P A T O L I S など技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、メール配信サービス「K I T - e n e w s」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R & D 支援センター」や、「システム開発技術センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

## 1-2 組織と業務

### 庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

### 企画支援部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。
- (4) 工業デザイン及び工芸品の開発研究、調査及び技術指導に関すること(大島紬部の所管に属するものを除く)。
- (5) 工業デザイン及び工芸品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること(大島紬部の所管に属するものを除く)。

### 食品・化学部

- (1) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 生産技術部

- (1) 機械工業、電子工業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械工業、電子工業及び金属工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験、検査測定及び加工に関すること。

### 地域資源部

- (1) 木材、竹材等の地域資源の試験研究、調査及び技術指導に関すること(他部の所管に属するものを除く)。
- (2) 木材、竹材等の地域資源に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること(他部の所管に属するものを除く)。
- (3) シラスの試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (4) シラスに関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

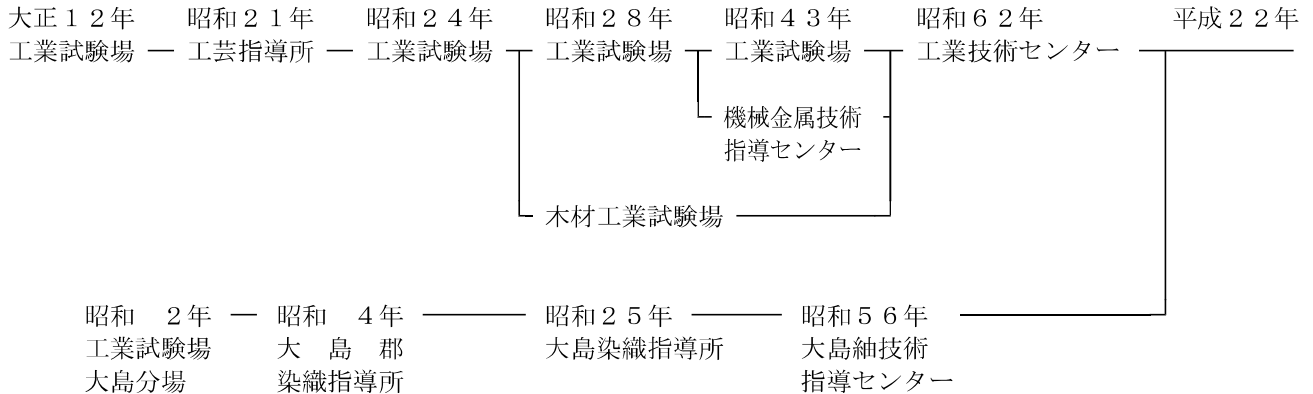
#### (シラス研究開発室)

地域資源部の項の第3号及び第4号に掲げる事務を分掌する。

### 大島紬部

- (1) 大島紬の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 大島紬に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 1-3 沿革

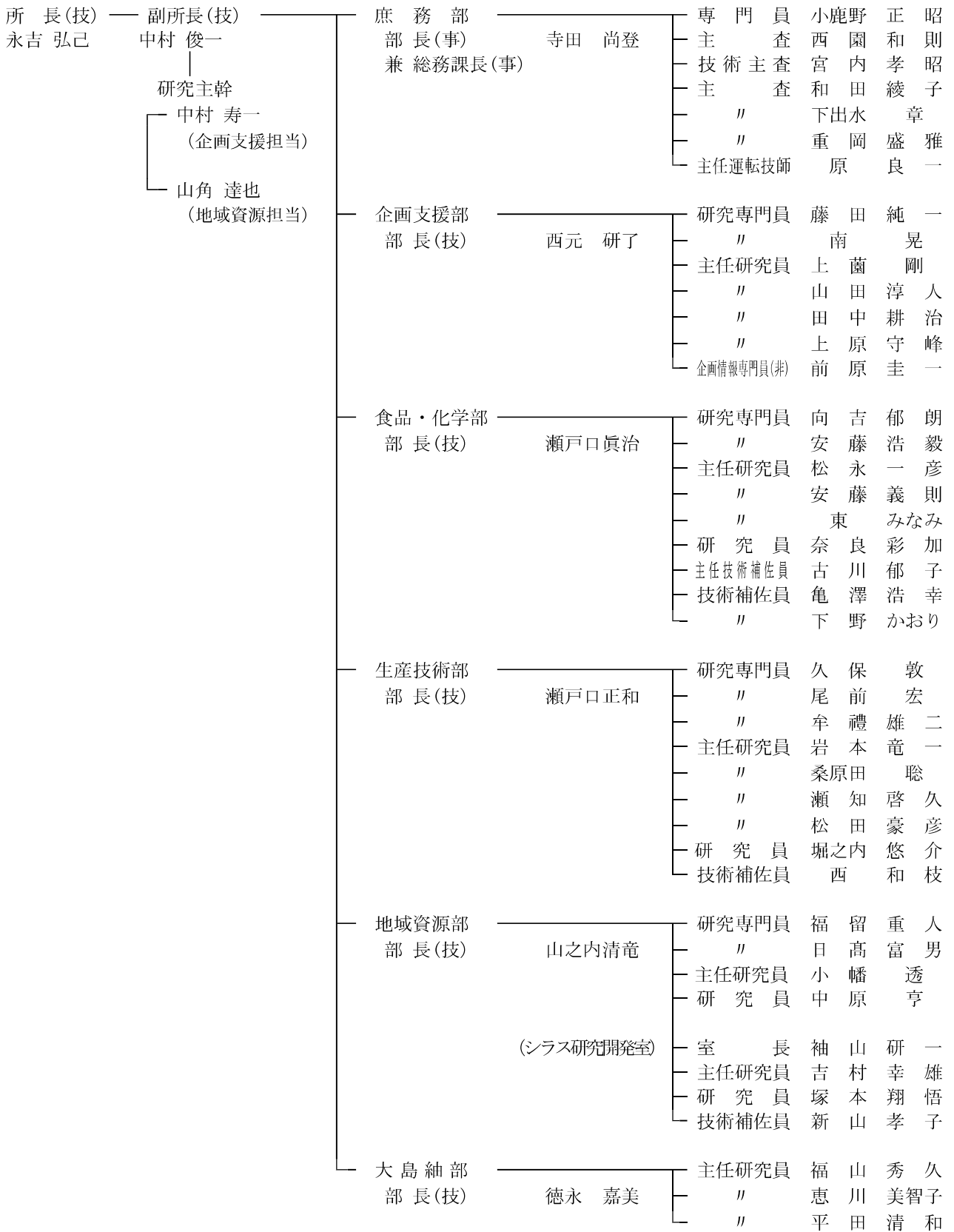


大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置  
 昭和2年 4月 工業試験場大島分場を設置し、庶務、図案、原料、染織の4部で発足  
 昭和4年 6月 鹿児島市原良町に移転  
 原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設  
 昭和4年11月 工業試験場大島分場を大島郡染織指導所と改称し、庶務、原料、染織、図案の4部に改編  
 昭和15年 4月 窯業部を増設  
 昭和17年 1月 木工、化学部を増設  
 昭和21年 4月 工業試験場に木工養成所を併設  
 昭和21年12月 工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編  
 昭和23年 1月 竹工部を増設  
 昭和24年 4月 工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編  
 昭和25年 6月 大島郡染織指導所を大島染織指導所と改称  
 昭和26年 4月 発酵工業部を新設  
 昭和27年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設、揖宿郡指宿町（現指宿市）に指宿分場を設置  
 大島染織指導所は琉球政府経済局の所管へ  
 昭和28年 4月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置  
 昭和28年12月 日本へ復帰、鹿児島県大島染織指導所へ  
 昭和34年11月 鹿児島市武町に移転  
 昭和38年 6月 指宿分場を廃止  
 昭和39年 4月 工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置  
 昭和43年 2月 工業試験場の新庁舎竣工  
 昭和43年 8月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立  
 昭和48年 3月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転  
 昭和56年 4月 大島染織指導所を大島紬技術指導センターと改称するとともに総務課、機織研究室、図案研究室、染色化学研究室の1課、3室体制とする。  
 昭和62年12月 工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、庶務、企画情報(室)、デザイン開発(室)、食品工業、化学、窯業、機械金属、電子、木材工業の2室7部に改編  
 平成8年 4月 組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足  
 平成9年 3月 知的所有権センター開所  
 平成9年12月 システム技術開発センター開所  
 平成10年 7月 R&D支援センター開所  
 平成13年 4月 化学部を化学・環境部に改編  
 平成22年 4月 大島紬技術指導センターを統合し、大島紬部を設置  
 平成23年 4月 組織改編により、庶務部、企画支援部、食品・化学部、生産技術部、地域資源部、シラス研究開発室、大島紬部の6部1室に改編

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成25年4月1日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成25年4月1日現在)

区 分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備 考
庶務部	6	3	1	10		所長，副所長を含む
企画支援部		8		8	1	
食品・化学部		7	3	10		
生産技術部		9	1	10		
地域資源部		6		6		
シラス研究開発室		3	1	4		
大島紬部		4		4		
計	6	40	6	52	1	

1-4-3 人事異動

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

発令年月日	氏 名	新 任	旧 任	備 考
H25. 4. 1	中村 俊一	副所長	産業立地課 参事	転 入
	小鹿野 正昭	専門員	若駒学園	
	堀之内 悠介	研究員	新規採用	
	奈良 彩加	〃	〃	
	中原 亨	〃	〃	
	下出水 章	庶務部主査	庶務部主査	再 任 用
	重岡 盛雅	〃	〃	
	上原 守峰	企画支援部主任研究員	企画支援部主任研究員	
	田中 耕治	〃	〃	
	平田 清和	大島紬部主任研究員	大島紬部主任研究員	
	福山 秀久	〃	〃	
恵川 美智子	〃	〃		
永吉 弘己	所 長	副所長	所内異動	
寺田 尚登	庶務部長兼総務課長	総務課長		
西元 研了	企画支援部長	研究主幹		
日高 富男	研究専門員	主任研究員		
安藤 浩毅	〃	〃		
南 晃	企画支援部研究専門員	生産技術部研究専門員		
瀬知 啓久	生産技術部主任研究員	企画支援部主任研究員		
桑畑 昭彦	商工労働水産部参事	庶務部長		転 出
新村 孝善	産業立地課参事	企画支援部長		
仮屋 一昭	大島支庁総務企画課技術主幹	研究主幹		
H25. 10. 1	和田 綾子	始良・伊佐地域振興局総務企画部 総務企画課主査	庶務部主査	
H26. 3. 31	徳永 嘉美		大島紬部長	退 職
	原 良一		主任運転技師	

## 1-5 規 模

### 1-5-1 土地・建物

土地面積 56,612.4 m<sup>2</sup>  
 建物延べ面積 19,099.73 m<sup>2</sup>

(霧島本庁舎 50,256.06m<sup>2</sup> 奄美分庁舎 6,356.34m<sup>2</sup>)  
 (霧島本庁舎 16,664.99m<sup>2</sup> 奄美分庁舎 2,434.74m<sup>2</sup>)

区 分	面 積 (単位m <sup>2</sup> )	内 訳			
		階別	面積(単位m <sup>2</sup> )	備 考	
霧 島 本 庁 舎	管 理 研 究 棟 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 下 1 階 地 上 3 階	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1 階	2,884.14	庶務部, 企画支援部, 会議室 研究員室, ショールーム (一社)鹿児島県発明協会 他	
		2 階	3,097.77	企画支援部, 食品・化学部, 生産 技術部, シラス研究開発室, 電子 計算機室	
		3 階	2,540.82	企画支援部, 食品・化学部, 地域 資源部, 生産技術部, R&D支援 センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟	食品・化学実験棟	656.10	1 階	656.10	食品・化学部
	窯業実験棟	951.35	1 階	951.35	生産技術部, シラス研究開発室
	鉄骨造 平屋建	1,640.25	1 階	1,640.25	生産技術部
	機械金属実験棟	1,640.25	1 階	1,640.25	生産技術部
	木材工業実験棟	1,541.84	1 階	1,541.84	企画支援部, 地域資源部
システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1 階	1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室	
その他付属棟	1,026.65			1,026.65	浄化槽機械室, 車庫, 官舎 他
奄 美 分 庁 舎	事 務 所 及 び 研 究 室 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 上 2 階	1 階	1,499.26	職員室, 会議室, 展示ロビー 資料室, 機織試験室, 染色試験室 染色加工室 他	
		2 階	630.40	デザイン研究室, 開放試験室 機器分析室, 化学分析室, 暗室 機器計測室, 機器計測準備室 他	
	ハイテク開放試験室 鉄骨造	164.32	1 階	164.32	つむぎゆらおう塾
	その他付属棟	140.76			140.76

### 1-5-2 配置図



■霧島本庁舎



■奄美分庁舎

## 1-6 決算

### 1-6-1 歳入

#### 執行状況

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	4,975,222	
		商工手数料	3,828,900	
	小計		8,804,122	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	861,000	
		生産物売払収入	876,960	
		小計	1,737,960	
諸収入	雑収入	受託事業収入	15,501,200	
		その他収入	201,854	
		小計	15,703,054	
合	計		26,245,136	

### 1-6-2 歳出

#### 執行状況

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考	
議会費	議会費	議会費	1,300	議会事務局	
衛生費	環境衛生費	環境保全対策費	18,000	地球温暖化対策課	
労働費	労政費	就職促進費	3,647,957	産業立地課	
		農業費	4,360	農産園芸課	
		林業費	9,420	森林経営課	
農林水産業費	小計	13,780			
商工費	商業費	商業総務費	52,920	商工政策課	
		工鉱業費	中小企業振興費	167,280	かごしまPR課
				86,280	産業立地課
			工業技術センター費	182,871,747	産業立地課
		小計	183,178,227		
合	計	186,859,264	(人件費を含まず)		

## 1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	調査研究  (一般企業)	公募提案型受託研究事業 「肌ヌカを用いたダイズアレルギーフリー味噌の製品化」	200	1/1	200	25. 9. 1	
〃	ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 (中小企業団体中央会)	公募提案型受託研究事業 「高精度静電気放電現象映像化装置の試作開発」	475	1/1	475	25.12. 2	
〃	ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 (中小企業団体中央会)	公募提案型受託研究事業 「溶融亜鉛めっきに替わる環境に優しい高耐食性熱拡散亜鉛めっき技術の確立」	300	1/1	300	25.12. 2	
〃	ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 (中小企業団体中央会)	公募提案型受託研究事業 「シラス(火山灰)を用いた微小な高強度バルーンの製造技術」	525	1/1	525	25.12.16	
〃	ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金 (中小企業団体中央会)	公募提案型受託研究事業 「閉塞鍛造法を用いた銅製工芸部品の低コスト・高効率成形技術の開発」	300	1/1	300	25.12. 9	
〃	研究成果最適展開支援プログラム(フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「セラミックスの押出し加工における成形プロセス解析技術の確立」	1,210	1/1	1,210	25. 4. 1	
〃	研究成果最適展開支援プログラム(フィージビリティスタディステージ探索タイプ)委託研究 (独)科学技術振興機構)	公募提案型受託研究事業 「高強度軽量自動車部品の3次元塑性流動可視化に基づく複動鍛造法の確立」	1,700	1/1	1,700	25. 8. 1	
〃	戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業 (独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)	公募提案型受託研究事業 「水熱処理とゼオライト触媒反応による高品質バイオ燃料製造プロセスの研究開発」	5,191	1/1	5,191	25. 4. 1	
〃	日本銅学会研究助成  (日本銅学会)	公募提案型受託研究事業 「純銅異形材押出し加工における塑性流動の動的3次元可視化」	300	1/1	300	25. 4. 1	
〃	調査研究  (日本酒造組合中央会)	公募提案型受託研究事業 「複数酵母を用いた混合醸造による酒質の個性化技術の確立」	1,500	1/1	1,500	25. 4. 1	
〃	H25年度「九州の成長戦略に基づく事業創出推進事業」機械工業振興チャレンジ研究調査 (九州産業技術センター)	公募提案型受託研究事業 「軽量自動車部材の低コスト・高品質加工を実現する次世代鍛造法の開発」	1,200	1/1	1,200	25. 7. 1	

区 分	補助事業等の名称	事 業 名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備 考
〃	地域資源活用新事業創出支援事業  ( (公財) かがしま産業支援センター)	公募提案型受託研究事業 「シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化」	300	1/1	300	25. 11. 1	
〃	重点業種研究開発支援事業  ( (公財) かがしま産業支援センター)	公募提案型受託研究事業 「光通信用シーリングの低コスト高効率成形技術の開発」	300	1/1	300	25. 7. 8	
〃	重点業種研究開発支援事業  ( (公財) かがしま産業支援センター)	公募提案型受託研究事業 「革新的歩留まり改善を目的としたトランスファー冷間鍛造による自動車用機構部品の開発」	600	1/1	600	25. 8. 12	
JKA補助	小型自動車等機械工業振興補助事業・公設工業試験研究所等における機械等設備拡充補助事業  ( (財) JKA)	機器整備事業 (研究機器購入事業)	21,945	2/3	14,630	25. 4. 1	
	合	計	36,046		28,731		



## 1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
委員監査	平成25年11月21日	平成24年度	監査委員 弓指博昭 監査委員 橋口和博 監査委員事務局 局長 堤清利 監査第二課 課長補佐 今村和憲	
職員監査	平成25年10月15日	平成24年度	監査委員事務局 今村和憲, 吉田洋一郎 富森貴代	

## 1-7 会議等への参加

(件数)

項 目 \ 部 名	庶務部	企画支援部	食品・化学部	生産技術部	地域資源部	シラス研究開発室	大島紬部	合 計
試験研究機関連絡会議	4	7	8	5	6	2	2	34
学 会	0	0	3	17	3	8	0	31
研究会・講習会	7	22	15	44	11	12	5	116
そ の 他	7	34	12	12	11	6	17	99

※庶務部は所長, 副所長を含む

## 1-8 設 備

平成25年度に整備した機器(重要物品)は, 以下のとおりである。(2機種)

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
生産技術部	EMI計測システム	TS9949-1	(株)東陽テクニカ	JKA補
食品・化学部	連続高速遠心分離器	H-2000B	(株)コクサン	国 補

(注)

- JKA補 — JKA補助金((財)JKAからの交付)により購入したもの  
 国 補 — 国の補助を受けて購入したもの

